

英単語発音学習システムの構築

3S-8

川村 陽子 冠谷 大 伊藤 小琴 前川 仁孝 伊與田光宏

千葉工業大学

1.はじめに

英語には日本語にない特有の発音や日本人が聞き間違いやすい発音があり、我々日本人はそれらを聞き取ることを苦手としている。しかしながら、中学・高校の授業では文法が中心であり、発音に関しては軽視されがちで集中して学習する機会は少ないというのが現実である。さらに、日本語と化した英単語があまりにも氾濫しているが、英語本来の発音とかけ離れていることが多く、本当の発音を知らないままというケースもありうる。

本研究では、英単語をストーリーの中から取り上げてその発音を学習するシステムをHyperCardで構築する。

2.システム提案

本システムでは、以下の3点を重点的に指導する。

- 日本語と化した英単語の正しい発音
- 短母音・長母音・二重母音の発音
- アクセント位置

ストーリーは、パソコン初心者がインターネットやリモートアクセスを使えるようになるまでの過程が問答形式で進行する。パソコンの周囲には英語が多く、良く知られているが正しく発音がなされていないため、矯正の余地があると考えられるからである。このストーリーに沿って学習を進めていく。

発音機能にはText-to-Speechを使用しHyperTalkで制御する。また、学習の手助けとなるように以下のような機能を付加する。

- 再生速度コントロールパネルの起動
- 単語のアクセント位置や同じ発音をする位置の表示

3.教材の構成

図1にスタック構成を示す。学習用スタックを開くと両ストーリースタックも開く。日本語ストーリースタックは英語ストーリースタックの和訳に使用している。

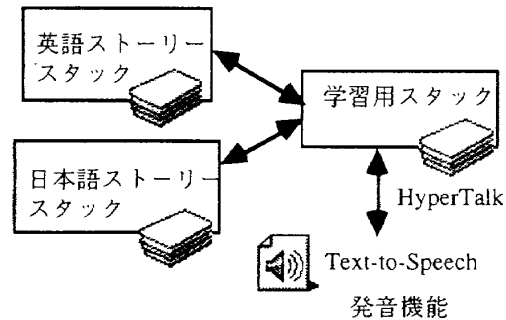


図1 構成図

4.実行例

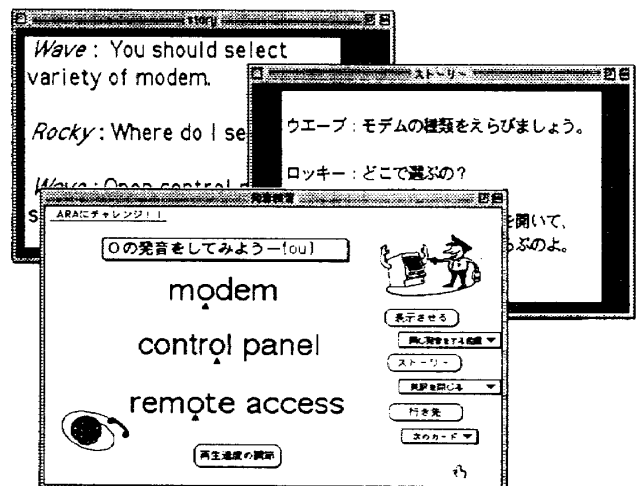


図2 実行例

本システムの実行例を図2に示す。英語ストーリースタックに出現する単語を2~3個ピックアップし学習用スタックに表示する。その単語をクリックすることにより聞くことが出来る。また、各機能を実現するボタンを配置する。英語ストーリースタックではカードをめくるごとに全文の読み上げが可能である。

5.おわりに

本研究では、HyperCardを用いて発音学習システムの構築を行った。発音のみに着目したため、効率の良い学習が期待できる。今回は母音の発音を重点として作成したが、今後の予定として、子音も充実させることにより総合的な発音が学習できると思われる。